

## 土壤分析値を活用して適正な施肥に努めましょう！！

肥料価格の高騰が続く昨今の情勢では、土壤分析の重要性がより一層高まっています。土壤分析値の活用方法について、以下に示します。

### < 1 作物の品質安定、収量向上につなげましょう >

分析結果から土壤養分の過不足がわかります。基準値よりも多い成分は減らし、少ない成分は増やすことで、適正なバランスを保つことができ、作物の品質の安定、収量向上につながります。

### < 2 施肥コスト低減につなげましょう >

肥料や土壤改良資材の適切な施用量もわかります。価格の低い銘柄に切り替えたり、施用量が多すぎる場合には減らすことができ、その分だけ施肥コストの低減につながります。

<表 1：十勝東北部管内の土壤分析値の傾向(2018～2020)>

(単位：%)

黒色火山性土		リン酸			台地土		リン酸		
		基準以下	基準値内	基準以上			基準以下	基準値内	基準以上
カリ	基準以下	0	2	3	カリ	基準以下	0	0	
	基準値内	0	6	16		基準値内	0	1	13
	基準以上	1	23	<b>49</b>		基準以上	1	5	<b>78</b>

多くのほ場で、リン酸とカリが過剰になっていることがわかります。

また、北海道の施肥標準は以下のとおりとなっています。

(単位：kg/10a)

#### 牧草(維持管理)の施肥標準

(※1：道東(足寄町)、刈採草地(マ科率5%未満の場合))

窒素	リン酸	カリ
16	6~8	18

#### 飼料用とうもろこしの施肥標準

(※2：十勝山麓部(足寄町)、低地・台地・火山性土の場合)

窒素	リン酸	カリ
17~18	18~20	11

(北海道施肥ガイド 2020 より)

### Point !

- ・ 土壤分析の結果を基に、基準以上の成分が土壤中にある場合はこの表の値から更に減肥することができます。

- ・ 堆肥やスラリー、尿などの有機物を散布すると更に減肥が可能です。



実際に施肥設計を行う際には、土壤分析のためのサンプリングの方法等も含めて、普及センターまでご相談ください。

(十勝農業改良普及センター 十勝東北部支所 ☎ 0156-25-4326)